

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 福岡県
【学校名】 八女市立上陽北浜学園小学校・中学校
【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

心をつなぐスポーツと礼節・ことば

【実施学年、部、講座等】

第5学年（男子15名・女子9名）

第6学年（男子11名・女子9名）

第7学年（男子7名・女子12名）

【目的・ねらい】

- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めるとともに、おもてなし精神やボランティア精神を育む。
- ・日本文化のよさを実感するとともに、異文化についての理解を深める。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科(礼節・ことば科、保健体育科) ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間
- ・特別活動 ・教科以外での取組(児童会活動・生徒会活動)

【実践内容等】

(実施内容) ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

1 オリンピック・パラリンピックギャラリーの設置

(中央廊下、小学校図書館、中学校図書館)



2 テーマ「オリンピックにこめられた思い」(集会)

1月22日(火) 4限 対象: 第5学年 第6学年

- ・オリンピックのはじまり
- ・オリンピックの価値
- ・2020東京オリンピック

3 テーマ「おもてなしの心と異文化理解」(礼節・ことば科)

1月26日(火) 5・6限 対象: 第5学年 第6学年
第7学年

講師 筑波大学大学院客員教授 江上いずみ 先生



- ・江上先生からおもてなしの心についての講話
- ・マナーや接遇についてロールプレイを交えながらの体験
- ・日本文化と外国文化についての違い
- ・国際的なマナーについて



4 テーマ「スポーツと豊かな生活」(5時間)

実施学年：第7学年(保健体育：2時間 学級会活動：3時間)

①2月16日(水)3限「障害者のスポーツ活動から学ぶこと」

2月29日(月)2限「ゴールボールの体験」(講師招聘)

②「筑後特別支援学校との交流会で楽しむスポーツを考えよう」

・考案3月/1日(水)4限、2日(木)3限 ・発表会3月7日(月)2限

(実践上の工夫点、留意点等)

- ・オリ・パラ教育実践の継続を図るために中期(第5・6・7学年)の児童生徒を中心に実践した。
- ・前期(1・2・3)児童には、啓発を中心にして校舎内にギャラリーや器具を設置して運動への興味や自分の身体への関心が高まることをねらいとして実践した。
- ・本校の教育課題(体力、運動能力)を踏まえ、教育課程(礼節・ことば科)や既存の活動(区分別指導)を生かす方向で取り組みを図った。

(成果)

- オリンピック・パラリンピックギャラリーの設置は、2020東京オリンピック・パラリンピック開催の周知並びにスポーツ活動への興味・関心を高めるものとなった。

- 「おもてなしの心と異文化理解」の授業は、教育課程特例校である本校の「礼節・ことば科」の推進につながるものであった。
- オリ・パラ教育に関する職員の共通認識が高まり、来年度の教育指導計画にオリ・パラ教育を系統的に配置して協働実践する体制が整った。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

- 本年度は、年度途中からの実施であったこと、指導者がオリンピック・パラリンピック教育についての理解や認識が不足していたことなどから単発的な取組になった。来年度からは、教育活動全体を通して、教育課程にしっかりと位置付けて計画的に取り組みたい。